



「国際盲ろうの日」～盲ろうについて知ってください～

2025年6月、国連がヘレン・ケラーの誕生日である6月27日を「国際盲ろうの日」と決めました。これを記念して、2026年6月27日に高松市中央商店街で「香川盲ろう者友の会」主催による「国際盲ろうの日記念イベント」が開催されました。

盲ろうとは視覚と聴覚の両方に障害がある状態のことで、日本には1万4,000人、香川県には100人以上の「盲ろう者」がいると推計されています。日本の法律には盲ろうの定義がなく、現状では身体障害者手帳に視覚と聴覚の両方の障害が記載されている人を盲ろう者としています。また、盲ろうの状態は、見え方と聞こえ方の程度や障害の受障時期によって類別されています。

普段、私たちは五感を使って生活していますが、視覚と聴覚に障害を併せ持つ盲ろう者は、情報入手、コミュニケーション、移動などに大きな制約を受けています。このため、社会と隔絶された生活を余儀なくされたり、孤独な状態に陥りやすい環境におか

れています。そのような盲ろう者と社会をつなぐのが「盲ろう者向け通訳・介助員」です。通訳・介助員は、盲ろう者が生活や教育によって得た強み（手書き文字、音声、筆談、指文字、パソコン、点字、指点字、手話など）を用いて、一人ひとりに適した方法で支援を行います。また、相談員にとっても、通訳だけではなく、利用者の背景や思い、盲ろう者の現状や社会的な課題などを教えてくださる重要な存在です。

今回のイベントに参加し、コミュニケーションの第一歩は相手を理解しよう、自分の思いを伝えようとする気持ちだと改めて感じました。このような機会があれば、ぜひ皆さんも参加してみてください。

最後になりましたが、香川盲ろう者友の会の皆さん、参加者の皆さん、貴重な時間をありがとうございました。



「まなびやもも」～生きづらさを抱えている若者の居場所～

基幹相談支援センターとして地域の社会資源を把握するために、今回は太田上町にある「一般社団法人もも（まなびやもも）」にお伺いさせていただきました。

主に10歳～22歳ぐらいの方を対象とし、学校に行くのがつらい、家にも居場所がないなど、生きづらさを感じている若者たちが相談したり、居場所で過ごしたりすることができる場所です（ホームページ参照）。利用されている人のなかには、発達障害などの診断がついている方もいらっしゃるということです。

大きな活動として、「みんなの居場所」、「momonoba(r)」、「りこのキッチン」、「自習室・学習会」の4つの居場所があります。細かな活動内容について、今回は割愛させていただきますので、気になる方はホームページ等をご覧くださいけたらと思います。実際に居場所として利用されている部屋の様子を見させていただきました。穏やかな音楽が流れており、漫画やピアノなどがあったり、皆さんが書いた絵なども飾ってあったりするなど、とてもリラックスできる空間でした。

居場所の開放時間などは曜日や時間が決まっているので、ホームページなどでご確認いただけたらと思います。今後も地域の社会資源の情報をお伝えできればと思っています。

●一般社団法人もも（まなびやもも）

〒761-8074 香川県高松市太田上町1287番地6

HP: <https://manabiya-momo.jp>

ご協力ありがとうございました



毎年、障害者生活支援センターたかまつでは計画相談利用の方を対象とした利用者アンケートを実施し、その結果をホームページに掲載しています。2025年度も多くの方にご協力いただき、誠にありがとうございました。

この場を借りてお礼申し上げます。

結果につきましては、障害者生活支援センターたかまつの全職員で共有させていただきました。皆様からいただいた貴重なご意見を参考にし、業務改善と利用者様の満足度向上に取り組んでいく所存です。

今後とも、よろしくお願いいたします。

一人で悩んでいませんか

ご自身やご家族のことで困っていることはありませんか。また、あなたの周りで困っている人や気になる人はいませんか。障害者生活支援センターたかまつでは地域の総合相談窓口として以下の業務を行っています。

●**身体障がい**に関して、高松市、三木町、直島町にお住まいの障がい児・者およびそのご家族、関係機関の方からの各種相談支援、情報提供。

●**障がい種別に関わらず**、太田、太田南、鶴尾、弦打、香西、鬼無、下笠居地区にお住いの障がい児・者およびそのご家族、関係機関の方からの各種相談支援、情報提供。

相談員が不在の場合もあるため、まずは電話・FAXにてご相談ください。



障がい福祉サービスについて

今回は「移動支援」に関するお知らせです。

令和8年4月から、高松市の移動支援事業に新たな支援方法が新設されました。

＜変更点＞

従来：個別支援型。利用者1人に対して介助員がマンツーマンで支援を行う。

今後：個別支援型に加え、グループ支援型を新設。

ヘルパー2名以上で複数の利用者（1:3まで）を同時に支援することが可能。

↓事業の詳細はこちらから確認できます↓

移動支援事業（グループ支援型）の実施について/高松市

「外出しづらさ」という個々の課題が地域全体の課題として高松圏域自立支援協議会で共有され、解決に向けた議論が続けられてきました。こうした積み重ねが今回の制度改正につながり、外出支援の幅が広がったことは地域の暮らしを前進させる大きな一歩です。

「ヘルパーさんと2人で電車に乗り遠出」、「みんなで一緒にシネコンへ映画鑑賞」など、個別・集団それぞれの良さを活かして、楽しいお出かけを計画しましょう。



災害に備えましょう！

台風シーズンに入りました。台風などの災害から身を守るためには日頃の備えが重要です。高松市が発行している下記のパンフレットを参考にして、準備物や避難方法などを家族や支援者と相談しておきましょう。

①障がいのある方のための災害対応のてびき

②障がいのある方をサポートするときの災害対応のてびき

③たかまつ防災マップ

①と②は高松市のホームページからダウンロードを、③はダウンロードの他、高松市役所（防災合同庁舎内危機管理課）、各総合センター・支所・出張所、市民サービスセンター等で配布しています。



～今後の活動予定～

9月	好事例収集委員会	
9月	サービス等利用計画作成サポート研修	
9月	虐待防止研修	
11月	意思決定支援研修・基礎編	
11月	ピアサポーターによる職員向け講演会	
1月	意思決定支援研修・実践編	など

活動の様子は次号にて報告させていただきます。

【発行者】障害者生活支援センターたかまつ

〒761-8057 香川県高松市田村町 1114 番地

かがわ総合リハビリテーション福祉センター内

電話 087-815-0330 / FAX 087-867-0420

ホームページ <http://www.kagawa-reha.net/shogai-shien.html>

利用時間 月～金曜日、第1・3日曜日 9時～17時

第2・4金曜日は9時～19時

※年末年始（12月29日～1月3日）及び祝日を除く